

第34回 日本製鉄音楽賞
受賞者について

第34回日本製鉄音楽賞の受賞者は、選考委員会による選考の結果、以下の通り決定しましたので、お知らせいたします。

第34回 日本製鉄音楽賞

《フレッシュアーティスト賞》副賞 300万円

金川真弓 かながわ まゆみ (ヴァイオリン)

【贈賞理由】

昨今のコンクール志向で技術の誇示や効果を先行させた演奏が多い中、正統的なスタイルを踏まえつつ、曲の本質を理解し自分の感性をしっかりと通した説得力ある演奏を聴かせる注目すべきヴァイオリニストである。また柔軟にアンサンブルを作り上げる対応力と包容力も彼女の素晴らしい才能である。今後の更なる成長と活躍に期待する。

(山崎伸子選考委員)

《特別賞》副賞 100万円

平井 満 ひらい みつる (音楽プロデューサー)

【贈賞理由】

数十年にわたり地道に手作りで演奏会制作を続け、商業主義に染まらない市民レベルの視点で内外のベテランから若手までの優れた演奏家による室内楽演奏会を企画・運営、その質の高い内容は愛好家から大きな支持を得るとともに、裾野から広く室内楽ファン増加に寄与した。室内楽振興に果たしてきたその功績は高く評価されるべきである。

(寺西基之選考委員)

なお、第34回日本製鉄音楽賞の贈呈は、2024年3月18日(月)に日本製鉄株式会社本社において行います。

また、受賞記念コンサートを、2024年7月11日(木)に紀尾井ホールにて開催(18:30開演)いたします。

第34回日本製鉄音楽賞 フレッシュアーティスト賞

金川真弓 かながわ まゆみ (ヴァイオリン)

生年月日：1994年8月31日（29歳） 出身：ドイツ・フランクフルト

音楽への専心と、豊潤かつ深い音色で奏でられる音楽性が聴衆を魅了している。2019年チャイコフスキー国際コンクール第4位、2018年ロン＝ティボー国際音楽コンクール(*)第2位入賞および最優秀協奏曲賞を受賞し、一躍注目を集める。

これまでに、プラハ放送交響楽団、マリインスキー劇場管弦楽団、ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団、フィンランド放送交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、フランス国立ロワール管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団等と、日本では、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、広島交響楽団、NHK交響楽団、九州交響楽団、群馬交響楽団に客演し、ハンヌ・リントウ、セバスティアン・ヴァイグレ、ユーリ・シモノフ、パスカル・ロフェ、アレクサンダー・シェリー、ヒュー・ウルフ、モデスタス・ピトレナス、尾高忠明、小林研一郎、井上道義、沼尻竜典、広上淳一、小泉和裕、秋山和慶、飯森範親、川瀬賢太郎等の指揮者と共演している。2020/21シーズンにはウィグモア・ホールへのデビューも果たした。

室内楽やアウトリーチでは、トランス＝シベリア芸術祭やヴェルビエ音楽祭等に出演するほか、トナリ・ツアーズのドイツ・ツアーに出演した。日本では、シャネル・ピグマリオン・デイズでの公演も好評を得る。ドイツ生まれ。4歳から日本でヴァイオリンを始め、その後ニューヨークを経て、12歳でロサンゼルスに移る。現在はベルリンを拠点に演奏活動を展開させている。ハンス・アイスラー音楽大学でコリヤ・ブラッハーに、また名倉淑子、川崎雅夫、ロバート・リプセットの各氏に師事。

使用楽器は、ドイツ演奏家財団のドイツ国家楽器基金から貸与されたペトラス・ガールネリウス（マントヴァ、17世紀後半製作）を経て、2022年より日本音楽財団よりストラディヴァリウス1725年製ヴァイオリン「ウィルヘルミ」を貸与されている。

オフィシャル・ウェブサイト <https://www.mayumikanagawa.com/>

*：ロン＝ティボー国際コンクール 1943年発足。フランス・パリで4年ごとに開催。



第34回日本製鉄音楽賞 特別賞

平井 満 ひらい みつる (音楽プロデューサー)

生年月日：1949年4月11日（74歳） 出身：神奈川県横浜市

東洋大学文学部卒業、同大学院修士課程修了（専門は日本近世史）。1975～2010年湘南学園中学高等学校教諭、その後2014年まで講師。この間の1990年鵜沼室内楽愛好会の結成に参加、企画担当、2009年よりは代表として「鵜沼サロンコンサート」の企画・運営に当たり、2010年には会として神奈川県地域社会事業賞を受賞した。2022年4月には第400回を迎え、現在では日本を代表するサロンコンサートとして、全国紙やNHKでも紹介されている。その経験を活かし、2008年には横浜楽友会を設立し2010年より代表、また2011年には海老名楽友協会の設立にも参加するなど、神奈川県内の公共ホールでのコンサートの企画・運営にも当たっており、年間30公演を超えるコンサートの開催に携わっている。著書に「クラシック・コンサートをつくる。つづける。～地域主催者はかく語りき」（2017 渡辺和氏との共著、水曜社）、2019年第6回「JASRAC音楽文化賞」受賞。横浜楽友会代表、鵜沼室内楽愛好会代表、海老名楽友協会代表代行、音楽プロデューサー協会幹事。



日本製鉄音楽賞

Nippon Steel Music Awards

日本製鉄音楽賞（旧称・新日鉄音楽賞、2012（平成24）年10月より新日鉄住金音楽賞、2019年4月1日より現行に改称）は、1990（平成2）年に旧新日鉄創立20周年と、同社が提供してきた「新日鉄コンサート」放送35周年を記念して設けられた音楽賞です。

この賞を通して、日本の音楽文化の発展と、将来を期待される音楽家の方々の一層の活躍を支援することを目的としています。

【賞の概要】

フレッシュアーティスト賞 [賞状/副賞 300万円]

将来を期待される優れたアーティストを対象とした賞。

選考方針としては、技術のみにかたよらず、音楽性、将来性を重視し、広い範囲から選出。その年の最優秀者を決定し、賞を贈る。

特別賞 [賞状/副賞 100万円]

クラシック音楽をベースにした活動を行っている個人を対象とした賞。

幅広いジャンルのなかから、演奏会を支えるなど音楽文化の発展に大きな貢献を果たした方に対して、賞を贈る。

【選考委員】

寺西基之（音楽評論家）

上田弘子（音楽評論家）

山野雄大（音楽評論家）

江口 玲（ピアニスト・東京藝術大学教授）

山崎伸子（チェリスト・桐朋学園大学特任教授・東京藝術大学名誉教授）

主 催：日本製鉄株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号

運営事務局：公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号

電話 03-5276-4500（代表） FAX 03-5276-4527

日本製鉄音楽賞（旧・新日鉄音楽賞／新日鉄住金音楽賞） 歴代受賞者

第1回（1990年度）	フレッシュアーティスト賞／ 諏訪内晶子 (ヴァイオリン) 特別賞／ 松本美和子 (ソプラノ)
第2回（1991年度）	フレッシュアーティスト賞／ 長谷川陽子 (チェロ) 特別賞／ 宮崎隆男 (ステージ・マネージャー)
第3回（1992年度）	フレッシュアーティスト賞／ 服部譲二 (ヴァイオリン) 特別賞／ 田中希代子 (ピアノ)
第4回（1993年度）	フレッシュアーティスト賞／ 田部京子 (ピアノ) 特別賞／ 千葉 馨 (ホルン)
第5回（1994年度）	フレッシュアーティスト賞／ 本名徹次 (指揮) 特別賞／ 森島英子 (オペラ・コレペティトール)
第6回（1995年度）	フレッシュアーティスト賞／ 菅 英三子 (ソプラノ) 特別賞／ 三浦尚之 (ミュージック・フロム・ジャパン代表)
第7回（1996年度）	フレッシュアーティスト賞／ 川本嘉子 (ヴィオラ) 特別賞／ 鶴田昭弘 (ピアノ調律師)
第8回（1997年度）	フレッシュアーティスト賞／ 樫本大進 (ヴァイオリン) 特別賞／ 小川 昂 (音楽史料研究家)
第9回（1998年度）	フレッシュアーティスト賞／ 横山幸雄 (ピアノ) 特別賞／ 吉井實行 (仙台フィルハーモニー管弦楽団事務局長)
第10回（1999年度）	フレッシュアーティスト賞／ 佐藤美枝子 (ソプラノ) 特別賞／ 瀧 淳 (アート・マネージャー)
第11回（2000年度）	フレッシュアーティスト賞／ 木村 大 (ギター) 特別賞／ 永田 穂 (永田音響設計 特別顧問)
第12回（2001年度）	フレッシュアーティスト賞／ 高木綾子 (フルート) 特別賞／ 伊藤京子 (別府アルゲリッチ音楽祭総合プロデューサー)
第13回（2002年度）	フレッシュアーティスト賞／ 小菅 優 (ピアノ) 特別賞／ 杉 理一 (ニューオペラ・プロダクション代表)
第14回（2003年度）	フレッシュアーティスト賞／ 天羽明恵 (ソプラノ) 特別賞／ 井阪 紘 (音楽プロデューサー)
第15回（2004年度）	フレッシュアーティスト賞／ 植村理葉 (ヴァイオリン) 特別賞／ 栗山昌良 (演出家)
第16回（2005年度）	フレッシュアーティスト賞／ 木下美穂子 (ソプラノ) 特別賞／ 青木十良 (チェロ)
第17回（2006年度）	フレッシュアーティスト賞／ 下野竜也 (指揮者) 特別賞／ 村上輝久 (ピアノ調律師)
第18回（2007年度）	フレッシュアーティスト賞／ 上原彩子 (ピアノ) 特別賞／ 木之下 晃 (写真家)
第19回（2008年度）	フレッシュアーティスト賞／ クアルテット・エクセルシオ (弦楽四重奏) 特別賞／ 金山茂人 (財団法人東京交響楽団理事・最高顧問)
第20回（2009年度）	フレッシュアーティスト賞／ 河村尚子 (ピアノ) 特別賞／ 青木賢児 (財団法人宮崎県立芸術劇場 理事長)
第21回（2010年度）	フレッシュアーティスト賞／ 長原幸太 (ヴァイオリン・大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスター [当時]、 現読売日本交響楽団コンサートマスター) 特別賞／ 豊田耕兒 (ヴァイオリン・社団法人 才能教育研究会芸術監督)
第22回（2011年度）	フレッシュアーティスト賞／ 萩原麻未 (ピアノ) 特別賞／ 室井摩耶子 (ピアノ)
第23回（2012年度）	フレッシュアーティスト賞／ 松田理奈 (ヴァイオリン) 特別賞／ 栗本尊子 (メゾ・ソプラノ)

- 第 24 回 (2013 年度) フレッシュアーティスト賞／**福士マリ子**(ファゴット)
特別賞／**岩崎 淑**(ピアノ)
- 第 25 回 (2014 年度) フレッシュアーティスト賞／**岡本侑也**(チェロ)
特別賞／**ひのまどか**(音楽作家)
- 第 26 回 (2015 年度) フレッシュアーティスト賞／**三浦友理枝**(ピアノ)
特別賞／**山田正幸**(ラ・フォル・ジュルネ金沢音楽祭事務局チーフ・プロデューサー)
- 第 27 回 (2016 年度) フレッシュアーティスト賞／**服部百音**(ヴァイオリン)
特別賞／**小栗哲家**(プロデューサー・舞台監督・技術監督)
- 第 28 回 (2017 年度) フレッシュアーティスト賞／**景山梨乃**(ハーブ)
特別賞／**該当者なし**
- 第 29 回 (2018 年度) フレッシュアーティスト賞／**葵トリオ**(ピアノ三重奏団)
特別賞／**林喜代種**(舞台写真家)
- 第 30 回 (2019 年度) フレッシュアーティスト賞／**大西宇宙**(バリトン)
特別賞／**小林道夫**(清里音楽祭創設・音楽監督、ゆふいん音楽祭音楽アドバイザー、
ピアニスト、チェンバリスト)
- 第 31 回 (2020 年度) フレッシュアーティスト賞／**川口成彦**(フォルテピアノ)
特別賞／**猪狩光弘**(ステージ・マネージャー)
- 第 32 回 (2021 年度) フレッシュアーティスト賞／**佐藤晴真**(チェロ)
特別賞／**広渡 勲**(プロデューサー、演出家)
- 第 33 回 (2022 年度) フレッシュアーティスト賞／**務川慧悟**(ピアノ)
特別賞／**高木 裕**(ピアノプロデューサー、ピアノ技術者)

以 上

お問い合わせ先 : 総務部広報センター 電話 03-6867-2146、2135、2977、3419